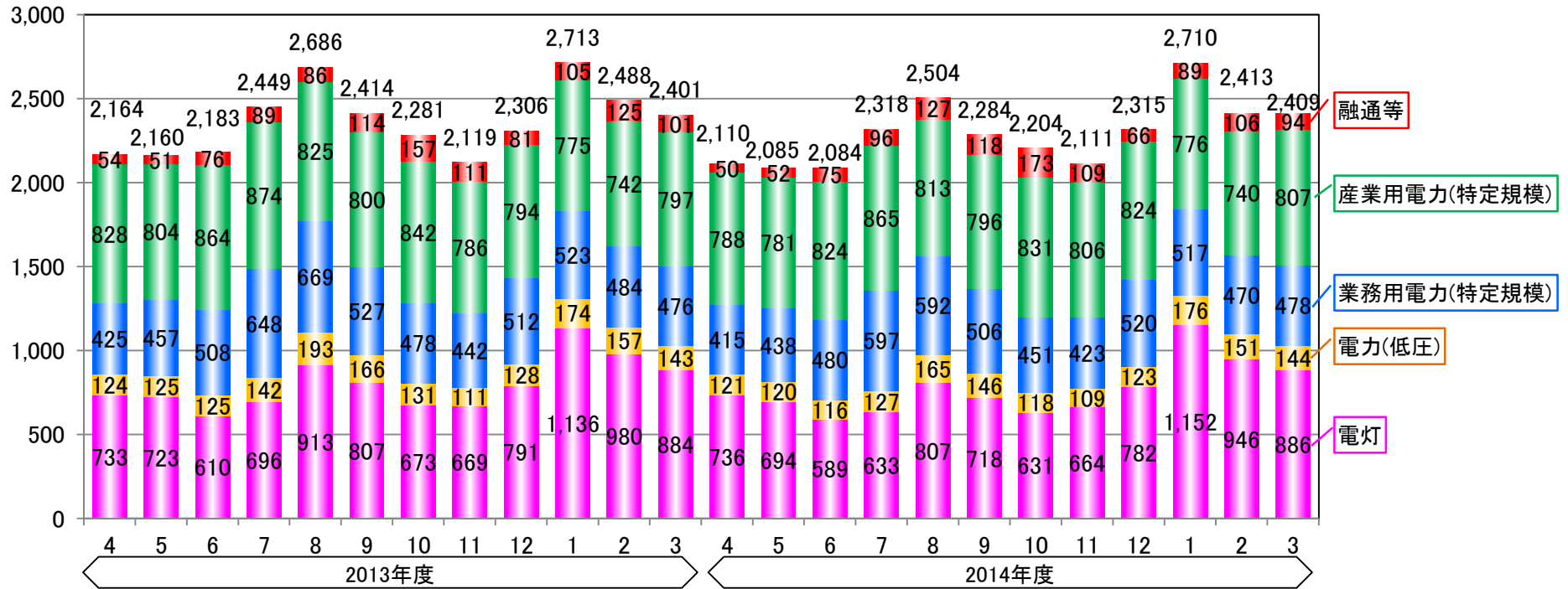


2014年度決算 補足説明資料
(平成26年度決算)

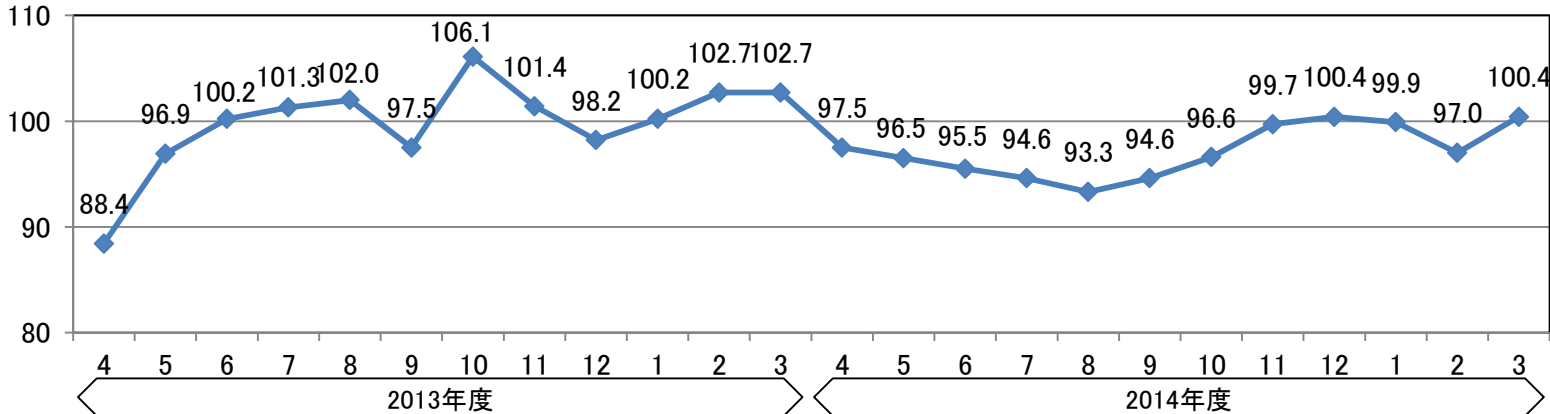
2015年4月30日

四国電力株式会社

百万kWh 【総販売電力量の月別推移】



% 【総販売電力量の前年比推移】



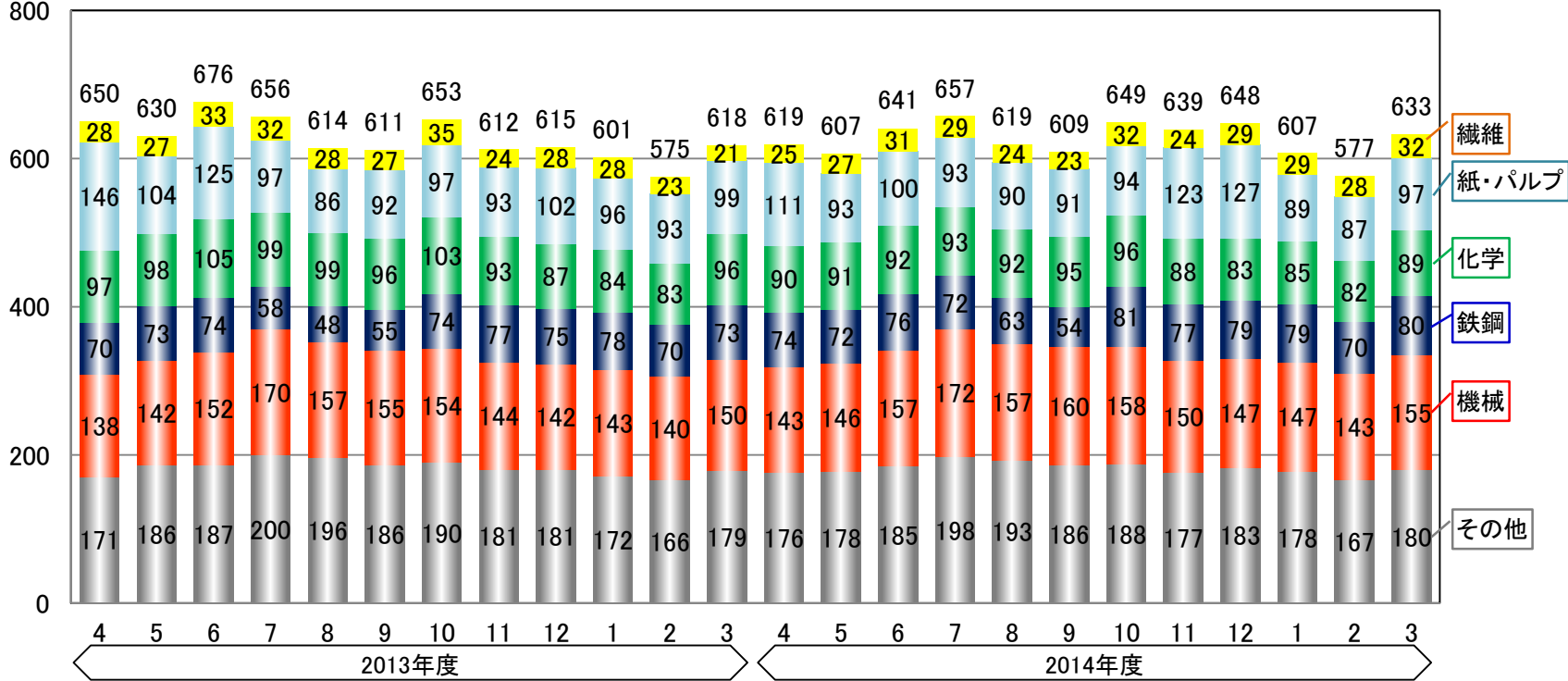


大口電力販売実績 ①

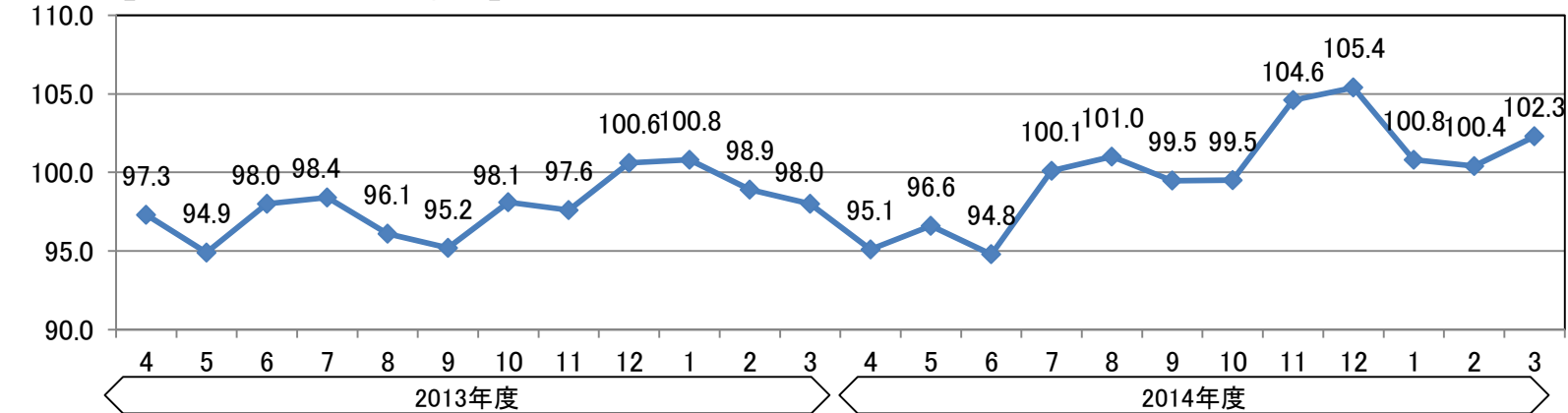
YON DEN

百万kWh

【大口電力の月別推移】



【大口電力の前年比推移】



対前年同期 伸び率

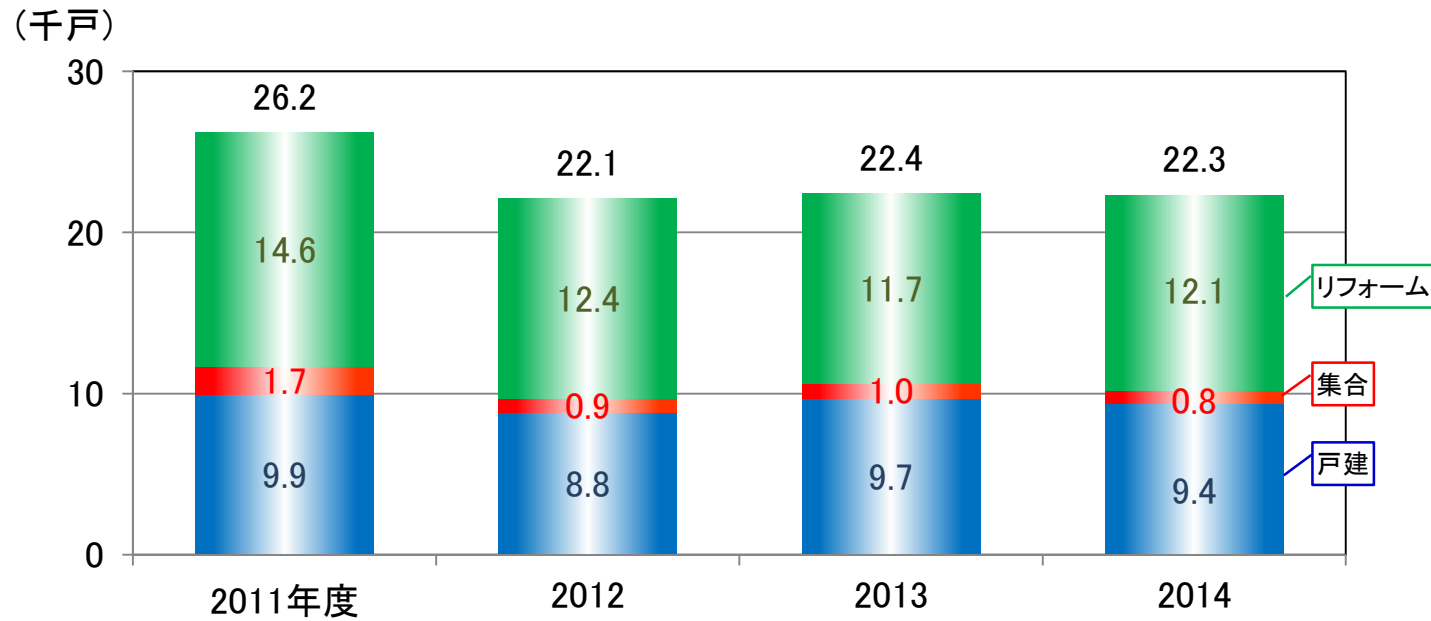
(%)

	2013年度					2014年度				
	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	年度計	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	年度計
大口電力	▲3.3	▲3.4	▲1.2	▲0.8	▲2.2	▲4.5	0.2	3.1	1.2	▲0.1
繊維	▲4.7	0.4	▲1.7	▲8.2	▲3.4	▲4.3	▲13.6	▲2.2	22.2	▲0.4
紙・パ	▲10.9	▲7.9	▲7.5	▲3.6	▲7.8	▲18.9	▲0.5	17.7	▲5.3	▲2.9
化学	1.5	▲0.6	0.9	▲2.9	▲0.2	▲8.8	▲5.2	▲5.2	▲2.6	▲5.5
鉄鋼	7.2	▲4.8	4.6	0.9	2.3	2.7	16.8	4.7	4.0	6.3
機械	▲5.7	▲2.1	1.7	5.8	▲0.3	3.1	1.4	3.3	3.1	2.7
その他	▲1.6	▲3.9	▲3.2	▲2.8	▲2.9	▲1.3	▲0.3	▲0.4	0.9	▲0.3

一部お客さまの
生産調整など

一部お客さまの
生産増など

電化住宅採用戸数



(内訳) 電化採用戸数 (単位：千戸)

	2014年度		2013年度
		前年同期比	
新築電化	10.2	▲ 4.6%	10.7
戸建	9.4	▲ 3.1%	9.7
集合	0.8	▲19.0%	1.0
リフォーム	12.1	3.4%	11.7
計	22.3	▲0.4%	22.4

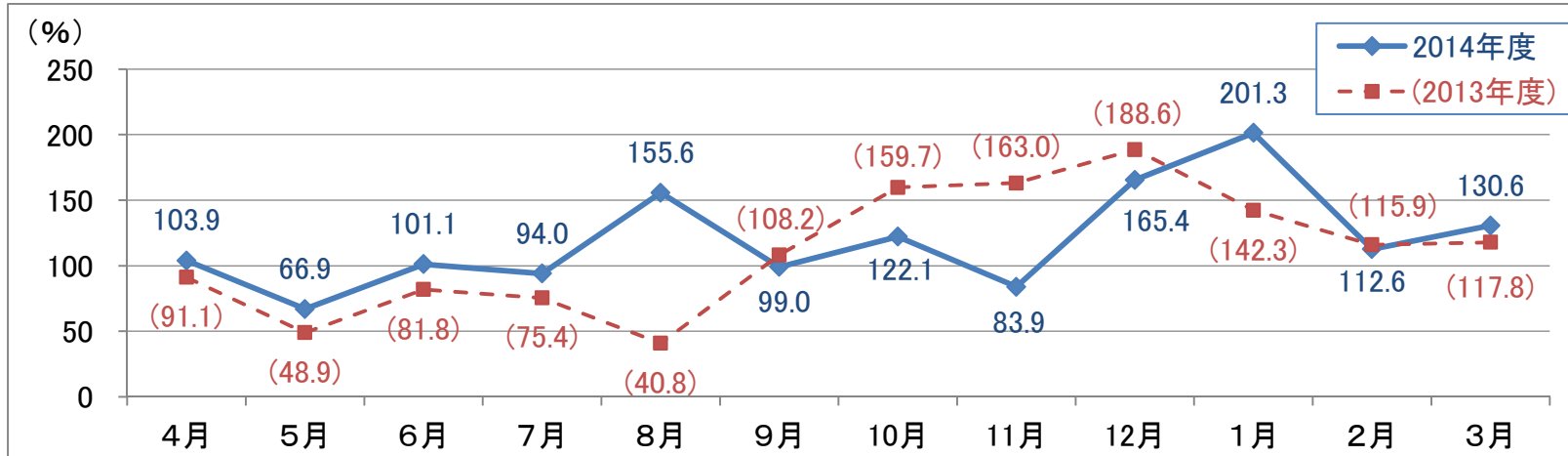
化石燃料消費実績

	2014年度 (A)	2013年度 (B)	前年差 (A-B)
石 炭 (t)	328.8万	307.2万	21.6万
重 油 (kl)	73.6万	90.4万	▲16.9万
原 油 (kl)	14.1万	27.2万	▲13.1万
L N G (t)	34.2万	37.5万	▲3.3万

燃料諸元

	2014年度 (A)	2013年度 (B)	前年差 (A-B)
石炭通関CIF (\$/ t)	93	108	▲15
原油通関CIF (\$/ b)	90	110	▲20
LNG通関CIF (\$/ t)	800	836	▲36
為替レート (円/\$)	110	100	10

出水率の推移



主要諸元の需給関連費への影響額等

(億円)

	2014年度
原油CIF (1\$/b)	7
石炭CIF (1\$/t)	7
為替レート (1円/\$)	14
原子力利用率 (1%)	15
出水率 (1%)	3
燃調期ずれ影響額	95

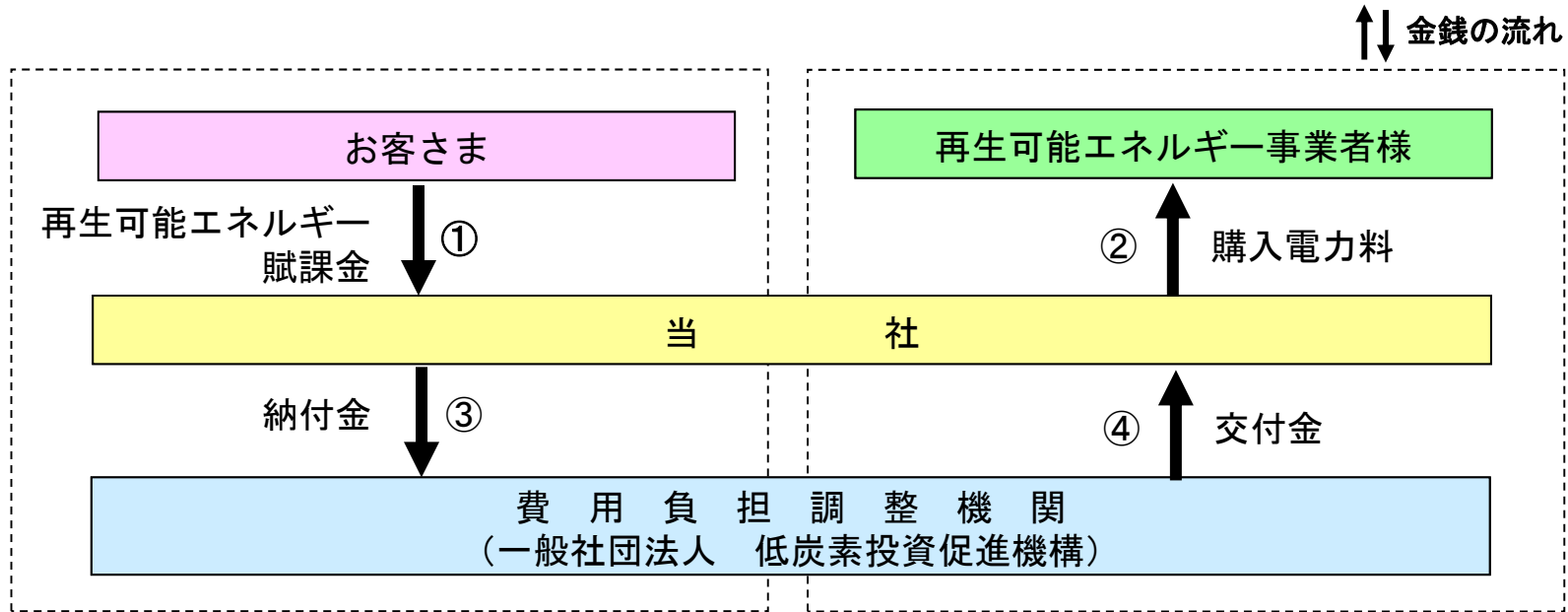
(注1) 左記影響額等は、一定の前提に基づいて算定した理論値であり、実際の影響は需給状況等によって変動することがある。

(注2) 燃調期ずれ影響額は、実際の燃料費調整額と燃料価格の適用に遅れが無いと仮定した場合の金額の差額。

（億円）

	2014年度 （累計）	（参考） 2013年度
電源	326	331
水力	42	31
火力	79	69
原子力	204	230
送電	45	40
変電	63	55
配電	87	84
その他	23	36
小計	546	548
原子燃料	48	39
電気事業計	595	587
その他の事業	125	169
設備投資額※	721	757

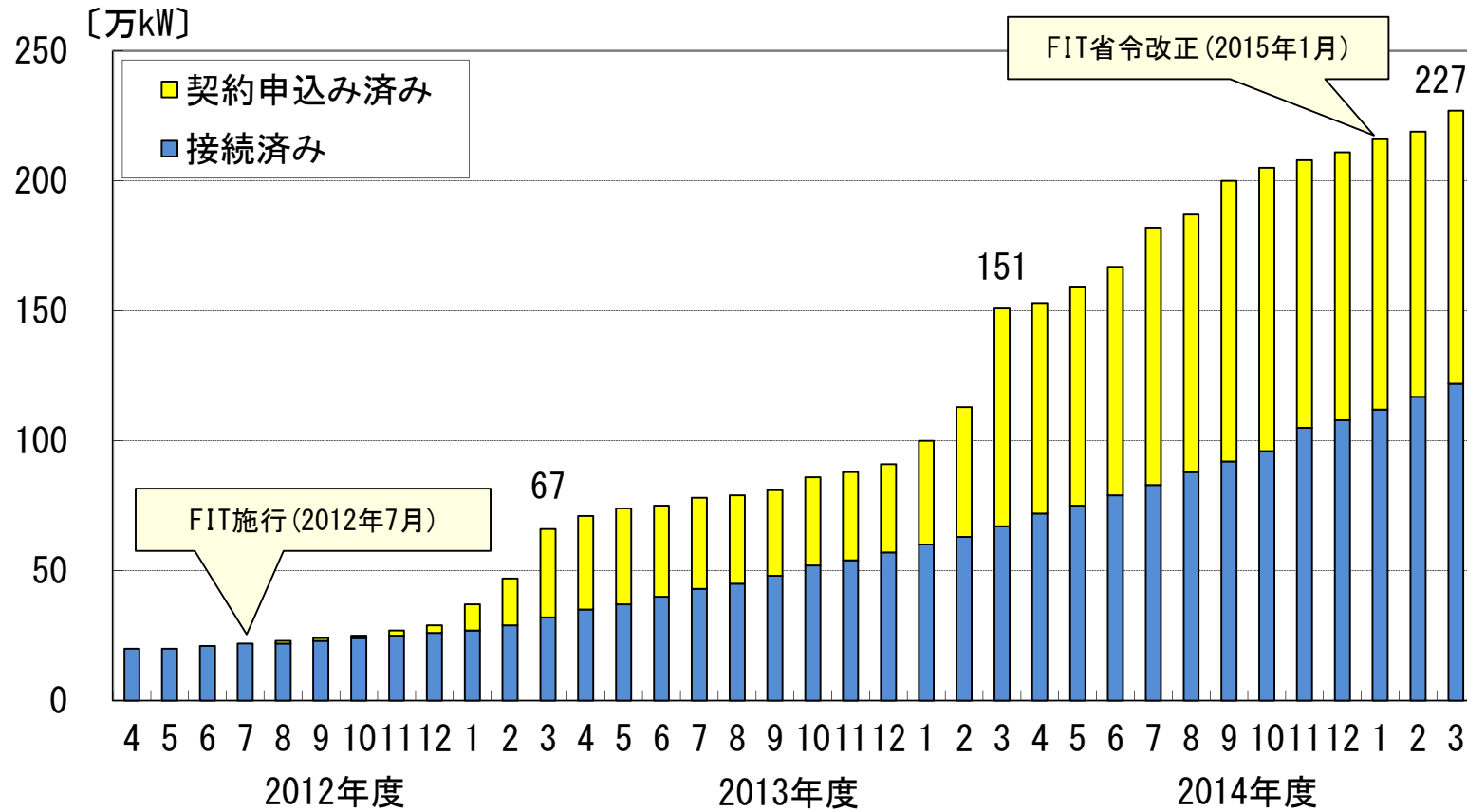
※未実現利益消去前



① 再生可能エネルギー賦課金	169
当社は、お客さまから電気料金の一部（再生エネルギー賦課金）として回収	
③ 納付金	169
費用負担調整機関は、当社から納付金を徴収	

単位：億円

② 購入電力料	492
当社は、再生可能エネルギー事業者様に購入電力料をお支払い	
④ 交付金	394
費用負担調整機関は、当社が買取に要した費用（電気価値分等を控除）を当社に交付	



※上記のほか、当社より融通送電を行っている関西電力管内の淡路島南部において、接続済みおよび契約申込み済みの太陽光発電設備が約14万kWあります。
 ※当社および淡路島南部の太陽光発電設備の接続可能量は257万kW（2015年1月公表）